

いしがみ
石神町会 町会便り

第51号

平成30年9月 発行

第3回 地域交流まつり

大型台風来襲、北海道の地震もあり、いよいよ災害に備えておかなければなりません。

去年は春に開催しましたが今年は秋に開催します。

防災会と文化交流部で防災訓練とお楽しみ会をします。会員以外の方でも参加できます。

皆様お誘いあわせの上、参加をお待ちしています。

日時：11月11日(日) 10:00～(9:30受付)



場所：練馬区立みんなの広場公園

参加費は無料です。昼食も用意していますのでお楽しみに。

防災名簿を有効にご利用ください

会長 豊田 勝良

このところ、異常気象のためでしょうか、奇妙なコースをたどる台風や、各所で1時間に100mmを超す降水量による水害、突風、竜巻など自然災害が頻発しています。さらに摂氏40度を超す気温の日が続き、熱中症による死者が増えるなど、今までとは全く異なった気候となってきている印象を受けます。そのほか、地震発生の確率が高まっているとの報道もあるなか、北海道で震度7の地震が発生し、広範囲に災害が発生しています。

このようなことから、我々が様々な災害に遭遇することが危惧されます。その時のためにいろいろなことを想定して、身を守るためにどの様な対策を講じておくか、あるいは行動をとるべきかを常に考えておくことが求められます。今まででは何も起きたからこれからも起きないだろうということは、何の保証もありません。

震災や風水害など非常事態時は地域、隣近所の人々が協力し合い、助け合いながらこの危機を乗り越えなければなりません。その為には普段から隣近所、地域の方々との関係を深め、絆を築いていかなければ、いざという時に対応できないと思います。何か災害が生じた場合、まず自分や家族の身を守り、次に隣近所の確認と手助けを行い、町会の会員の確認と救助にかかわることが求められると思われます。今回防災名簿を配布しましたが、各自いろいろな利用の仕方を考えられると思います。有効に利用していただきたいと思っています。

各部のお知らせ

防災会

活動報告

6月24日

石神町会防災会防災部会員9名出席のもと“みんなの広場”に在る防災倉庫の点検と発電機の始動、星野副会長の指導の下“D級ポンプ”的始動・放水を行いました。

次回はスタンドパイプの取り扱いを行います。



8月3日

練馬区防災学習センター森野所長にお越しいただき、町会役員、班長を対象に震災対策を石神井庁舎で講演いただきました。33名出席しました。

TVが飛び冷蔵庫や家具が倒れおまけに窓ガラスが壊れるという衝撃の実映像が映し出され、改めて震災時は室内で被災することが分かりました。家具を固定していないと危険です。(死亡者の8割が室内)

又、ストレスの強い避難所で死亡するお年寄りが多いのを踏まえ、自宅で避難できる準備をする大切さを学びました。3日分の食糧は非常食を買い込まなくても普段の家庭で貯えるものです。



文化部

バス旅行会報告

9月11日、バス旅行会を実施しました。参加者は38名でした。

最初に東京都の視察船「新東京丸(総トン数197トン、昭和58年3月竣工)」で、竹芝桟橋から豊洲市



場沖を経て、芝浦ふ頭を右に見ながらインボウブリッジをくぐり、品川ふ頭や巨大なガントリーカーのある大井コンテナふ頭のを眺めながら、羽田空港沖で左折し、東京ゲートブリッジをくぐって青海に到達する、約1時間15分の船旅でした。巨大な流通拠点として、日々発展している東京港の様子を目の当たりにして、感慨深いものがありました。来年は新しい船に代わることです。2020年のオリンピックの後、どのような変貌を遂げているのか興味をそそられます。2年後にこのようなバス旅行会が催されるのも良いのではないでしょうか。

葛西臨海公園にある水族館を経て東京都庁に移動し、都議会本会議室、部会会議室等で説明を受けました。(写真は都議会本会議室にて)

毎年好評の認知症勉強会を、

10月18日(木)午前10時から12時に、石神井庁舎5階会議室6で行います。



今年は、認知症に加えて後半の30分で**高齢者の住まい**についても、ご一緒に勉強したいと思います。

「アルツハイマー病で脳の働きが悪くなっているのは、通常、記憶や判断に関するわずか5%にも至らない部分だけで、残りの95%以上は正常に働いています。感情や思考については正常な働きをしているため、喜怒哀楽がはっきりと表れます。そのことを周りの人が理解していれば、感情豊かな交流も可能です。(順天堂大学院教授新井伊平)」

認知症を正しく理解し、上手にお付き合いをするために、今回も大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

人生100年時代ともなると、充実したセカンドライフを送るためにいくつかの備えが必要になります。認知症についての正しい理解もその一つですが、今回はそれに加えて高齢者の住まいについても、ご一緒に勉強したいと思います。

在宅療養や在宅介護が難しくなったときに、どのような高齢者の住まいの選択肢があるのでしょうか？まだ先のことですが、今のうちに勉強しておくと安心です。



リサイクル部

トイレットペーパー配布

日頃より町会の資源回収にご協力頂き有難うございます。

8月20日(月)に町会会員各位にトイレットペーパーをリサイクルの収入の中から配布いたしました。お手元に届きましたでしょうか。トイレットペーパー代総額62万円になりました。

リサイクルの意義をご理解いただき、

第1、第3土曜日は古紙、布、段ボール
金属は年4回

出していただきますと、区から活動費として1kgあたり6円支払われます。



この使い道について、皆様のご意見をお寄せください。
尚、回収場所のわからない方、回収予定表を無くされた方はお電話ください。

TEL:5393-1023

渡辺 桂子

地域情報

石神井障害者地域生活支援センター ういんぐ

「ういんぐ」は、障害のある人たちやその家族が地域で孤立せず、安心して生活が送れるように一緒に考え、サポートするところです。いつも町会のイベントや防災訓練には積極的に参加をさせて頂いています。9月にはういんぐ主催の講座を開催します。町会の皆様が精神障害についての理解を深め、ういんぐの活動を知っていただける機会になればうれしいです。お気軽にお申し込みください♪

平成30年度 ういんぐ 精神保健福祉講座

『行動障害～知的障害者・発達障害者の行動障害を中心に～』

講師：慈雲堂病院 村上 佳奈子先生

日程：9月27日（木）14時～16時（受付開始 13:30～）

場所：石神井保健相談所2階 講堂

対象者：当事者・家族、精神保健福祉分野に関心のある方

定員：50名(申し込み順)



FAX、窓口でお申込みください。また、お申込みの際に当日のご本人様確認のため、

①名前 ②住所 ③電話番号をご記入ください。

※先着順で受付け、定員を超えた場合のみご連絡いたします。

※個人情報は講座実施のために活用し、それ以外の目的では一切使用しません。

石神井障害者地域生活支援センターういんぐ（石神井保健相談所内 1階）

FAX 3997-2182 担当：田中・小野寺



<灯籠流し>

8月4日(土) 石神井公園にて

今年は144個の電飾を使って竜を表現しました。毎年何を作ろうか考えるのが楽しみです。

製作は気楽な家2階にて行っています。ご興味のある方、一緒に作ってみませんか。



松井さんご夫婦

<広報部より>

皆様の投稿をお待ちしています。

右記までご連絡ください。

または、気楽な家までお持ちください。

次号は12月を予定しています。

発行者：豊田 勝良

担当部署：広報部

担当者：前原 尚生

FAX：03-3904-7896